

第 49 回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和 3 年 8 月 2 6 日（木）9:00～

場所：401 会議室

【協議事項】

防災監：これより、対策本部会議を開催する。緊急事態宣言が愛知県にも追加された。そのことについて市の対応を協議する。では、防災交通課長、状況説明を。

防災交通課長：愛知県の 7 日間平均の新規陽性者数は、8 月 2 4 日時点で 1 2 9 8 . 0 人とステージ 4 にあり、県内で感染が急拡大している。8 月 2 5 日には、過去最多となる 1 8 1 5 人の新規陽性者が確認をされている。入院患者数も 7 日間平均で、6 6 3 . 1 人と急速に「危険」域に迫っており、予断を許さない状況となっている。また、現在の状況として、保健所に聞いたが、中等症で自宅療養になる場合もあり得るとのこと。ただし、中等症には、1 と 2 の分類があり、1 は肺炎の所見があり、酸素飽和度が 9 3 ～ 9 6 の人で、この人たちについては、自宅療養があり得るとのこと、酸素投与が必要な中等症 2 の人については入院ができる現状である。一方、犬山市においても、新規陽性者数が急増しており、8 月 2 5 日では、1 日で 1 6 人と過去最多の人数となった。直近 1 週間の新規陽性者数は 5 6 人で、1 0 万人あたりの感染者数は 7 6 . 3 0 人となっている。

続いて、緊急事態宣言の緊急事態措置の内容になるが、期間は 8 月 2 7 日から 9 月 1 2 日までの 1 7 日間。今回の措置は、まん延防止重点措置の措置区域の際の内容と少し変更点がある。まず、不要不急の行動の自粛では、外出自粛の時間は午後 8 時以降と変わらないが、人出の半減を目指して自粛を強く要請する内容となっている。飲食店等に対する営業時間短縮等の要請については、酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店や遊興施設、具体的には居酒屋やバー、カラオケボックスなどになりますが、こちらについては休業の要請となる。その他、酒類の提供やカラオケ設備を使用しない飲食店や遊興施設については、午後 8 時までの時短営業の要請となっています。結婚式場においては、できるだけ短時間で、5 0 人又は収容人数の 5 0 % の開催となるよう働きかけをする。飲食店等以外の営業時間短縮等の要請及び働きかけでは、集会場や市民会館などは、イベントの開催以外の場合は午後 8 時までの時間短縮となっています。その他、運動施設、スーパー銭湯なども対象施設となっており、1 0 0 0 平米を超える施設にあっては時間短縮の要請を、1 0 0 0 平米以下の施設については時間短縮の働きかけをすることとなっている。また、イベントの開催制限については、収容率 5 0 % 以内かつ人数上限 5 0 0 0 人となっている。

市長：中等症の自宅療養の話をもう一度。

防災交通課長：江南保健所に聞いたところ、中等症は 1、2 と 2 つの段階に分かれる。中等症 1 の人については、肺炎の所見があり、酸素飽和度が 9 3 ～ 9 6 の人だが、今の愛知県の状況では、自宅療養の可能性もあり得る状況。

市長：中等症 1 の人は自宅療養の可能性があり、中等症 2 の人は入院できているということか。犬山の状況は。

防災交通課長：江南保健所管内の話であり、犬山の個別状況は教えてもらっていない。

防災監：この状況で今の市の対応を考えると、今までは公共施設については、午後8時以降は閉館、利用制限については、大声を出したり、マスクを着用できない活動などは収容率50%。その他については収容率100%まで認めていたが、今回は説明にもあった通り、その他の施設についても収容率50%以内かつ人数上限5000人となっている。時間については今まで通り午後8時までで閉館。利用制限については以前より厳しくする。近隣市町の公共施設の現状の対応の報告を。

防災交通課長：近隣市町を確認したところ、春日井市 閉館、小牧市 閉館、江南市は本日会議をするため未定。岩倉市も同様未定。稲沢市は時短によって公共施設を開く。ただし、使用用途によって判断する。一宮市は生涯学習施設、高齢施設、子育て関係施設の小さな施設については閉館、体育館などの指定管理施設については時短で開館。扶桑町 閉館、大口町 閉館。近隣は以上。

防災監：周りの市町は閉館しているところが多いため、市外から市内の施設を利用する人が増えてくる可能性がある。施設予約は市内優先。感染対策をより強化する必要がある。

市長：近隣の状況を聞くと閉館するところが多いのが気になる。フィットネスなどリスクの伴うところをターゲットにする方法もある。昨日までは時短で良いと思っていたが、近隣の状況を聞くと悩ましい。例えば、学校の体育館など屋内の運動施設に関しては閉館する。会議などはリスクがそこまで高くないため線引きはできる。

副市長：閉めるとなると対象はフィットネスフロイデ、体育館、勤労青少年ホームか。

経営部長：可児市や各務原市もほとんど閉館なので、図書館などにも他市から人が集まる可能性がある。入場制限をしても、制限をかけた中で密ができる危険もある。

市長：全部閉めるのが一番早いのでは。施設の利用者の発熱などの体調管理は利用者任せになっていないか。

子ども子育て監：施設の入り口で検温している。

市長：小さな施設でもしているのか。

子ども子育て監：やっている。

市長：施設をこのまま開館するとなれば利用の3日前や1週間分の健康観察をして利用してもらうなど、利用者にプレッシャーをかけなければならない。感染者が増えているが、ひどくなればなるほど手に負えなくなる。保健所からの連絡も遅く、内容も簡素化され、濃厚接触者のチェックもしていない。県のフォローアップができていない。東京はピークアウトするかもしれないが、愛知県はこれから増えてくる。

副市長：開けても閉めても市民からの苦情は来る。よりリスクの少ない方にとって公共施設を閉めるという考えもある。逆に、良くも悪くも国・県の方針に沿って、万全の対策をとってやるという考えもある。

企画広報課長：デルタ株ということもある。

市長：全員意見を出して議論した方が良い。

経営部長：施設を休館するという市町に取り囲まれている以上、開けるというのはリスクがある。

子ども子育て監：少し前に子育て支援センターに行った際、小牧との境の施設は市民の人も来るが、小牧の人がほとんど聞いている。犬山だけ施設が開いていて、市外から流入されるというリスクがあるので、閉めた方がよい。

消防長：いままでと状況が違う。国や県は中途半端な形で一部開くという形だが、これから感染者が増加すると言われていいる中で、開くという議論はどうなのか。閉める方向にウエイトを置くほうがよいのでは。

議会事務局長：二者択一の判断だと思うが、リスクということを考えれば、閉める方が望ましい。

経済環境部長：城を含めて閉めるべき。心配があるならば迷うことなく全ての施設を閉めなければ理屈がつかない。城、駐車場、大規模・小規模関係なく9月12日までは閉めるというのを早く判断するのが望ましい。

都市整備部次長：市長が言った保健所の機能不全に陥ってるというのが大きいと思う。最後の砦のような保健所が機能不全に陥り、感染者が野放しになっている状況でそのまま継続するのはどうかと。屋外、室内は分けた方がいいと思う。

都市整備部長：国・県の基準通り進めていくのも1つのやり方。近隣の状況から判断するのも1つ。そういった中で、今の近隣の状況、犬山市の感染状況を踏まえると閉めていく方がリスクが少ないと思う。

健康福祉部長：今まで犬山は国・県の基準に基づいた対策をとってきた。基本的な方針として犬山市は国・県の基準に従って運営していくのか、今までを踏まえてワンランク上の対策をとっていくのかを発信していく必要がある。今回においては、近隣の状況を見ると閉めた方がいいと思う。

教育長：学校現場では心配があるならばやらない。今回の場合も感染拡大が懸念されるなら、無条件で閉めていくべき。

市長：リスクで分けるのは難しい。

副市長：今後のリスクを考えると閉めた方がいいのかと。

市長：学校の対応は部活もやらないのか。

教育長：全くやらないわけではない。土日はやらない、平日は4日ほど短い時間で。

市長：0か100ならば0にした方が良く。緊急事態宣言が9月12日で終わるとは思えない。リスクがあるところだけを閉めるのは難しいのか。

健康福祉部長：振り分ける根拠が難しい。

市長：屋内・屋外で分けることはできないか。

経済環境部長：色々な弊害が出る。スポ少だけのことを言えば、体育館のバスケ、バレーはやめて屋外のサッカーは走るからマスクはしてられない、すべてやめないと整理がつかない。

健康福祉部長：開館してその間、緊張感をもって運営しなければならない。現在職員も濃厚接触や感染経路などで圧迫されている中で、感染者を減らすつもりで開館するというのは緊張感を更に上乘せすることになりかなり負担がある。

経済環境部長：観光施設で言えば、名鉄3園は国に準じて開けると思う。この会議の判断として城、駐車場、観光案内所はアナウンスしなければいけないため開くとしても、やめた場合に様々な声が上がる。だが、市民だけでなく県外からの移動も避けるという方針を踏まえて出していくということ。

市長：医療のひっ迫が今までとは状況が違う。保健所も麻痺しかけている。

副市長：閉めることについての合理的な説明はできる。

市長：閉める方向の意見が多い。閉める方向でいくか。

副市長：変異株の感染力は強い、感染者が急増している。このことから閉めるべきでは。

市長：閉める方向でいく。

経済環境部長：部活については。

教育長：学校開放をしないのであれば、部活動も制限する。

経済環境部長：一番はじめの時のように学校開放が全て禁止となった時、屋外屋内問わず全てのスポーツの活動を中止した。今回短期間だが非常にひっ迫した状況であるため、スポーツの活動も体育館、グラウンド含め中止とするという考えで良いか。

副市長：公共施設を閉めるということは、学校開放も閉じるということではないか。

経済環境部長：この土日から各スポーツ少年団に一齐にアナウンスするため、あいまいな状況だとどこかではやっていて、どこかでは中止しているという差異が生まれる。

副市長：学校開放も屋外屋内問わず閉める。それから明日から緊急事態宣言だが、周知期間を設けるのはどうか。

健康福祉部長：公共施設は今からでもできるが、犬山城は情報を知らないためある程度周知しておかないと人が来てしまう。

経済環境部長：周知しても人は来る。観光案内所と上手く連携をとる必要がある。

健康福祉部長：月曜日からが妥当なのは。

教育部長：土日からやるべき。金曜日は周知にあてればいいが、土日を外す理由はない。

経営部長：本日、記者会見もあるのでそのようなものも利用して周知する。

市長：ほかの国宝の城の状況は。

教育部長：姫路、松本は通常通り、彦根は保留、松江城は通常通り、名古屋城は時短という状況。

市長：城を閉めるということは、駐車場も閉めるということか。

経営部長：城だけの駐車場かという問題も出る。

教育部長：他の国宝は開けているため、犬山城も閉めないといけないのか。

市長：難しいのは、城は開けるが、からくり館やどんでん館はどうするのか。城下町の施設だけ開いてるのはおかしいとなる。

副市長：一般的に見て、公共施設は閉めて、観光施設は開けるという理屈は通らない。

健康福祉部長：城については、一番人が動く施設を開けているのかという目で見られる。

市長：駐車場は近隣の混乱を防ぐため開ける。それ以外の城を含めた公共施設は8月28日から閉館。

防災監：それでは、8月28日から全施設閉鎖ということで進める。

副市長：今回は急な決定のため、予約者への対応、周知を含め丁寧に対処すること。

防災監：これで本部会議を終了する。